

平成30年度決算審査の
自由討議からの意見・提言

福知山市議会
令和元年12月19日

福 議 発 第 4 8 3 号

令和元年12月19日

福知山市長 大橋 一夫 様

福 知 山 市 議 会

議 長 芦田 眞弘

決 算 審 査 委 員 会

委 員 長 野田 勝康

平成30年度決算審査の自由討議からの意見・提言について

決算審査委員会では、平成30年度決算審査に関連する市政の重要事項について、令和元年10月16日に自由討議を行った。

その際に各委員から出された意見等について、「平成30年度決算審査の自由討議からの意見・提言」として取りまとめた。

この意見・提言について、今後の行政運営や翌年度予算編成の参考とされたい。

平成30年度決算審査の自由討議からの意見・提言

1 民生委員・児童委員のあり方について

民生委員は無報酬の特別職地方公務員として、地域の見守り等が本来の業務であるが、その他にも本市独自の多様な事業にも取り組まれており、業務量と処遇のアンバランスが生じている。

また、地域の高齢化や就労年齢の上昇による人材不足、3年という長い委嘱期間による負担感もあり、民生委員のなり手不足が全市的な課題となっている。

福知山市においては、国に対して制度の改正を求めるとともに、民生委員・児童委員の業務の実態に沿った処遇の改善について検討されたい。

2 観光行政の取り組みと課題について

①NHK大河ドラマの放映が始まる令和2年の1年間は、本市の観光行政にとって、全国に向かって強力な情報発信ができる大きなチャンスである。現在、明智光秀プロジェクトは、様々な取り組みが順調に進み、福知山城の入館者が増加するなど本市への集客効果が表われている。この効果を一過性のものにすることなく、効果的な情報発信を継続し、今後も十分な観光力を発揮されたい。

②三和・夜久野・大江の各地域の自然や特産物の魅力について粘り強く発信するとともに、福知山城がある市街地観光との連携や市域を面でとらえた丁寧な観光案内・PRに努め、来訪者の利便性を高めるような方策を検討されたい。

③今後さらに増加する福知山城付近の駐車場の確保については、必要な対策を確実に実現されたい。